

令和7年度第2回 都市計画学会中部支部 能登半島地震対応コアメンバー会議 勉強会

日時：2025年8月4日 18:00～19:00

会場：オンライン

参加者：20名



冒頭では穴水町の被災状況や復興計画についての説明があった。主な被害としては土砂崩れや道路損傷、家屋倒壊、湾岸被害等があり、公費解体も進行していることが報告された。穴水町復興計画では取組を復旧、復興、発展に分類し、特に復興に向けた取り組みを推進していること、シンボルプロジェクトとして①災害に強いまちづくりプロジェクト、②地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト、③魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト、④奥能登の玄関口再生プロジェクトを設定していることについて紹介された。また、復興の方向性について、市街地、集落部、中心市街地に分類し方向性を検討しており、再配置する機能や拠点形成、関連計画への反映等の必要性を説明された。

最後に、今後の展望について、自治体規模が小さいため優先度の設定や効率的な意思決定の枠組みの構築が必要とされていること、人口流出が加速化しているためコミュニティのあり方やまちづくり人材の発掘、関係人口の創出が必要とされていること、スポンジ化が進む市街地の将来像の設定、復興計画の施策が多いため、復興計画と総合戦略の住み分け等についても共有された。

質疑の場では、都市マスや立地適正化計画への反映において穴水ICや集落部の拠点形成の考え方や復興優先度の内容、市街地内における新規開発エリアの設定方法、創造的復興の方向性、集落部の復興方向性の考え方、インフラ整備に関する復興の方向性について議論された。

(記録：坪井志朗)